

警報時報

日一廿
編輯兼發行 岡田弘成
印刷所 加納活版所
發行所 警報時報社
一部金貳圓 一月金貳拾圓
廣告料 一行十二字 五十錢
日刊(日曜祝祭日) 翌日休刊

大舉福島に乗り出し 警中平商を應援

四十五名の団体を募る

縣下中等學校野球大會は二復自動車賃として一人一圓十三日から福島市で舉行さ五十錢、定員四十五名であるが、平町警中、平商應援が、會費が安いのので申込援有志は二十二日の組合み殺到してゐる。希望者はせ抽籤を待つて適當の日を平町警中、平商部宛申し選び應援團を組織し福島に込まれたい。

氣丈夫な町長と 病床で新職業

新案 電話取次役

奇禍にあつて腰部に重傷し取次役まで一手に引き受けた平町長青沼隆太郎氏は入けてみづから慰めるとは、院先の市原病院を退院してかぬ氣の青沼町長の病床挿が、何しろ老体のこと、まだ足腰が立たず、床にいたきりである。齡古稀といへ強情張りの青沼町長は、こんなに永い病床生活平町第四小學校は昭和十二年ほど、あきが來て何か年度に實現する筈であるが、床の中で出来る仕事がないかと思案の末電話當番なる新職業を見つけた。卓上電話を枕もとにおいて豆腐一丁。キヤベツ十錢等の女中がやるだらう筈の電話の注文から、さき様からの電話當番根町に建設する第四校へ

第四小學校の 通學道路 敷地寄附交渉

坂本、川崎、高橋、吉田(寅)、新井、花澤、馬目(寅)、吉田(五)、小松、堀、會努力し其成績見るべきものあり、水戸營業事務所昭和十年度一口平均運輸成績驛た處によると、水稲作柄を見たが、その後の發育順

千八百圓の通帳 遺失して蒼くなる

鹿島村下倉持字宮作志賀調で現在では雪害の影響はぬ(六〇)さんは十九日午後全然認められない。

池の端に 螢を放す

平螢光納涼會では来る二十五日午後七時から平町松ヶ岡公園池の端で納涼會を催すが、無数の螢を放す外

平窪村に對抗して 好間村でも野菜市

平町紺屋町區長山野邊大五郎氏を發表した其成績による。好間村でも賛成したので二

海産組合會

名江名海産商組合では二十日午後一時から江名漁業組合で總會を開き豫算決算等を附議した。

二毛作品評會

平、平窪、好間一町二ヶ村の二毛作品評會の入賞者は左の如く決定した、出品二百五十。

本年は豊作 農家に早くも歡聲

石城郡農會の調査。農家に早くも歡聲。本年は豊作。農家に早くも歡聲。石城郡農會の調査。

千八百圓の通帳 遺失して蒼くなる

鹿島村下倉持字宮作志賀調で現在では雪害の影響はぬ(六〇)さんは十九日午後全然認められない。

海産組合會

名江名海産商組合では二十日午後一時から江名漁業組合で總會を開き豫算決算等を附議した。

二毛作品評會

平、平窪、好間一町二ヶ村の二毛作品評會の入賞者は左の如く決定した、出品二百五十。

本年は豊作 農家に早くも歡聲

石城郡農會の調査。農家に早くも歡聲。本年は豊作。農家に早くも歡聲。石城郡農會の調査。

池の端に 螢を放す

平螢光納涼會では来る二十五日午後七時から平町松ヶ岡公園池の端で納涼會を催すが、無数の螢を放す外

平窪村に對抗して 好間村でも野菜市

平町紺屋町區長山野邊大五郎氏を發表した其成績による。好間村でも賛成したので二

平町役場で 半ドン廢止

平町役場では例年今二十一日から八月末日まで半ドンであつたが市制施行を前にして多忙な事情もあるのので半ドンを廢止し午後二時まで執務する事になつた。

執行時間變更

信用組合平庶民金庫では夏期、店員慰勞の意味で左の如く執行時間を變更する事になつた。

傳貧馬發生

石城産馬畜産組合では此程作業中炭車が逆行跳ね飛ぶつた結果石住村才鉢大竹竹吉所有九歳馬が真病と判明した。

海水着

●水着をはじめ海水帽、淨袋、其の他最新な用品●

中野洋品店
平二・電五三

急告

新聞配達希望者を至急名募集す
委細面談
磐城時報社

急告

新聞配達希望者を至急名募集す
委細面談
磐城時報社

急告

新聞配達希望者を至急名募集す
委細面談
磐城時報社

急告

新聞配達希望者を至急名募集す
委細面談
磐城時報社

急告

新聞配達希望者を至急名募集す
委細面談
磐城時報社

